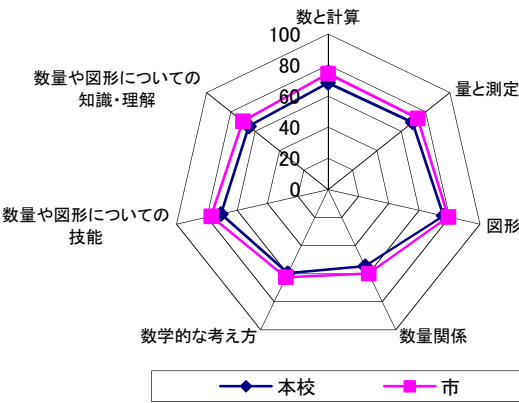


宇都宮市立海道小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	68.5	74.5
	量と測定	69.3	73.5
	図形	76.0	79.2
	数量関係	54.7	59.9
観点別	数学的な考え方	59.7	62.5
	数量や図形についての技能	70.7	77.1
	数量や図形についての知識・理解	65.1	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市と比べ平均正答率は6%ほど下回った。3けた×2けた＝5けた，3けた÷2けた＝2けた(余りあり)の計算では，正答率がどちらも50%にとどまった。数直線上に示された分数を読み取る問題は15.6%と問題の中で一番低い正答率であった。四則の混合した式の計算の順序についての問題では50%，分配法則の問題では31.3%と低かった。	・今後もドリル学習や基礎基本問題の小テストを行い，計算力の定着を図っていくとともに，個別指導をさらに徹底させる。また，分数や小数の概念の理解がさらに深まるよう，授業の中で図式化しながら再度指導する。
量と測定	・宇都宮市と比べ平均正答率は約4%ほど下回った。身近にあるものの面積を推察する問題では，46.9%と低かった。	・正方形や長方形の面積の求め方を応用した複合図形の面積が正しく求められるよう，朝の学習の時間や家庭学習で復習していく。また，日常の中で物の長さや面積について考えたりそれらを実感的に覚えたりできる機会を増やしていく。
図形	・宇都宮市と比べ平均正答率は約3%ほど下回った。球の半径から，球が3つ並んだときの長さを求める問題では，65.6%とやや低かった。	・平面の図形や立体の概念をさらに理解させるために，具体物を提示し視覚的・感覚的にとらえられるようにしていく。意図的に復習できる機会を作って定期的に学習できるようにする。
数量関係	・宇都宮市と比べ平均正答率は約5%ほど下回った。二次元表を利用して考える問題では，43.8%と低かった。	・二次元表の見方を再度指導し，理解の徹底を図るとともに，継続的に復習する。